

第42回 日本賞

教育コンテンツ国際コンクール

平成27年
10月15日
～22日開催



昨年の授賞式より

日本賞50年

NHKが主催する国際コンクール「日本賞」を、今年は10月15日～22日のスケジュールで開催します。

「日本賞」は、1965年(昭和40年)、当時、世界でも例のなかった教育番組を対象としたコンクールとしてスタートしました。放送は、娯楽や芸術のみならず、教育という分野でも社会に貢献できる、そんな強いメッセージが、「日本賞」には込められていました。

そして今年、50年を迎えます。この半世紀の間、様々なコンテンツがこのコンクールで議論され、表彰されてきました。それによって、放送が教育分野で社会貢献するという目的を果たしてきました。

50年を記念して、今回、NHKは、教育コンテンツの発展に寄与してきた個人や団体に会長賞を贈ることとします。また、節目の年にふさわしいイベントも鋭意、企画中です。

339作品がエントリー

10月のコンクールに向けて、6月30日にエントリーを締め切りました。締め切り時点で、世界54の国と地域から339の作品が寄せられました。

コンクールでは、これらの作品をコンテンツ部門と企画部門の二つに分けて、一次審査を行います。そして、8月中に最終選考に残る作品を決定します。

世界の制作者が渋谷に

会期中は、コンクールだけでなく、最先端で活躍するクリエイターたちが世界中から集まります。彼らに登壇していただきセッションを行う「IPCCEM・教育コンテンツ世界制作者会議」を、放送センターで開催の予定です。こちらは一般の方にも視聴いただけるように会場を設営することとしています。

コンクールだけでなく、世界中の制作者たちのエネルギーが渋谷にあふれる一週間になる日本賞を、よろしくお願いします。

「日本賞」教育コンテンツ国際コンクール 概要

審査部門

1. コンテンツ部門5カテゴリー
 - ①幼児向け(0歳～6歳)
 - ②児童向け(6歳～12歳)
 - ③青少年向け(12歳～18歳)
 - ④一般向け(18歳以上)
 - ⑤クリエイティブ・フロンティア

2. 企画部門

主な日程 【開催期間は10月15日(木)～22日(木)】

10月15日	開会式
10月15日～20日	審査、一次審査通過作品上映会
10月21日	IPCEM(イプセム・教育コンテンツ世界制作者会議)
10月22日	授賞式

JAPAN PRIZE 2015

http://www.nhk.or.jp/jp-prize/index_j.html